

## SDGs 連続講座 実施報告書

### 【概要】

今年度はコロナウィルス感染拡大の影響で、対面での連続講座の実施はリスクが高いと判断し、オンライン(ZOOM を使用)でSDGsに関連する社会課題をテーマにした映画の上映会を開催することとした。また上映後は、映画のテーマに関連する活動を実践されている方をゲスト講師として迎え、15分程度の講演をしていただいた。さらに連続講座参加者を少人数にグループ分けし、お互いに映画や講演についての感想や気づきを共有し、今後取り組んでいきたいことなどの情報交換の時間を取った。

講座の進行は基本的に以下のように行った。

- 1) 上映作品とゲスト講師の紹介 (5分)
- 2) 前回の振り返り (第2~5回、前回のアンケート結果を紹介) (5分)
- 3) 映画上映 (40-90分)
- 4) ゲスト講演 (15分)
- 5) 小グループに分けての感想や情報交換 (原則流れ解散) (30分)
- 6) 後日、アンケートフォームから参加者が感想や気づきなどを送付。

映画の上映権は配給会社のユナイテッドピープル株式会社と年間上映回数上限36回、視聴者数累計300人までの条件での年間契約により許諾された。

### 【上映作品とゲスト講師】(該当するSDGs番号はユナイテッドピープルの選定による)

第1回 1/20 「都市を耕す エディブルシティ」

ゲスト講師：江口 亜維子さん (千葉大学大学院 博士研究員)

SDGs ゴール番号：2, 12, 13, 15, 17

第2回 1/27 「スマホの真実」

ゲスト講師：辻 博子さん (一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク事務局長)

SDGs ゴール番号：12, 15, 16

第3回 2/10 「難民キャンプで暮らしてみたら」

ゲスト講師：関根 健次さん (ユナイテッドピープル株式会社 代表)

SDGs ゴール番号：1, 10, 16, 17

第4回 2/24 「バベルの学校」

ゲスト講師：沖本 怜さん (国際交流シェアハウス 代表)

SDGs ゴール番号：4, 17

第5回 3/10 「ポバティ・インク」

ゲスト講師：森 恵生さん (フードバンクひこね 代表)

SDGs ゴール番号：1, 2, 3, 8, 9, 10, 12, 17



## 【受講者】

第1回：11名，第2回：15名，第3回：14名，第4回：15名，第5回：13名のべ68名参加（参加登録29名）

オンライン開催となったため、京都や岐阜からの参加者もあり、対面開催では参加できなかった人たちの受講があった。

## 【アンケート】

毎回、受講者の方にはアンケートフォームで、映画の感想、ゲストの講演の感想、他の受講生との対話での気づき、今後取り組みたいと思ったことについて回答を依頼した。

## 【自主上映会の開催】

第2回の講座の時に、映画「スマホの真実」について、もっと多くの人にこの課題について知ってもらい、一緒に語り合いたいという要望が受講生から出た。その後、ゲストの辻博子さんに賛同いただき、SDGs 連続講座受講者による自主企画上映会を開催することとなった。また、第1回の映画「都市を耕す エディブルシティ」は、米原市の市民大学が授業の一環として取り上げることとなり、パブリックビューイング方式で実施された。

### 《自主上映会実施概要》

- ・ 3/3 「スマホの真実」 32名参加  
司会：桂 武邦さん、ゲスト講師：辻 博子さん
- ・ 3/9 「都市を耕す エディブルシティ」 24名参加  
司会：福永 ひろみさん

- ・ SDGs 連続講座をオンライン方式で開催することとなったが、受講者がオンラインでも対面と同様に受講者間の交流をしたいと積極的に参加された方が多く、5回の連続講座を実施できた。
- ・ SDGs 関連の映画はどれも多くの気づきを受講者に与え、様々な立場の人たちが、それぞれの視点で感想や気づきを意見交換できたことは、アンケートで満足度が高かった。
- ・ SDGs の取組は自分ゴトとして、自らが小さなアクションを始めることが大切で、連続講座の受講を通じて、参加者の自発的なアクションが実践されたことは人材育成につながった。